

「熊本地震での木造応急仮設住宅の建設と復興の取り組みにおける地域工務店の役割」 セミナー開催のご案内

(一社)JBN・全国工務店協会、全国建設労働組合総連合の2団体は、災害時に木造応急仮設住宅の建設と復興支援のために(一社)全国木造建設事業協会(略称:全木協)を設立し、東日本大震災において木造応急仮設住宅を1,000戸以上建設すると共に、昨年4月の「熊本地震」では、563戸の木造応急仮設住宅を建設し、現在は、復興に向けて次の段階に入っております。

応急仮設住宅の建設は、各都道府県と災害協定を締結した上で対応することになりますが、全木協(県内の対応窓口:(一社)愛媛県中小建築業協会)は、愛媛県と「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を平成25年2月6日に締結し、発災後の木造応急仮設住宅について、愛媛県の要請に応じ、速やかに、建設することとしています。

今回は、熊本地震で木造応急仮設住宅の建設にあたり、中心的な存在として尽力した(一社)熊本工務店ネットワークの久原会長(株)エバーフィールド社長)をお迎えして、熊本地震での対応、地域工務店として何ができるのか、なぜ木造応急仮設住宅に取組んだのかなど、時系列を含めて、当時を振り返りながら詳細に説明をして頂きます。

また、(一財)熊本県建築住宅センター田邊事務局長には、熊本県庁で当時、建築住宅局の局長として、災害復興に取り組んだ実体験を通じ、発災後の災害対応や木造応急仮設住宅建設に関する経緯等について、ご説明頂きます。

日本全国どこでいつ起こるかわからない災害に対し、事前に体制を整備することで、災害対応の仕方が変わってきます。今回、熊本地震後の木造応急仮設住宅建設に関し、熊本県庁並びに民間のそれぞれの立場で陣頭指揮を執ったお二人による講演を通じ、地域の工務店が担う役割を再認識いただくと共に、発災後の対応に活かして頂きたく、多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

記

- 日時 平成29年7月21日(金)14:00~17:00 受付13:30~
場所 愛媛県庁 第一別館 11階 会議室 (松山市一番町4丁目4-2)
※第一別館の階段室(東側)正面にある会議室です。
※駐車場はありませんので、近隣のコインパーキング等をご利用ください。
- 定員 100名(先着順)
参加費 無料 (申込みは、裏面の『参加申込書』をFAXください。)
- 参加対象者 一般社団法人愛媛県中小建築業協会の第一種・第二種会員
愛媛県建設労働組合の組合員 愛媛県及び20市町の担当課
- 講師 (一社)熊本工務店ネットワーク 久原会長(株)エバーフィールド社長)
(一財)熊本県建築住宅センター 田邊事務局長
愛媛県建築住宅課 建築指導係 小沢主任
- 主催 (一社)愛媛県中小建築業協会
共催 (一社)全国木造建設事業協会、(一社)JBN・全国工務店協会
全国建設労働組合総連合、愛媛県建設労働組合
愛媛県

申込書裏面

スケジュール

13:30~14:00	30分	受付	
14:00~14:10	10分	開会挨拶	(一社)愛媛県中小建築業協会 菊池会長 愛媛県土木部道路都市局 建築住宅課 山下課長
14:10~15:40	90分	熊本の工務店が作り上げた応急仮設住宅と復興への取り組みについて	(一社)熊本工務店ネットワーク 久原会長 (株)エバーフィールド社長
15:40~15:50	10分	休憩	
15:50~16:40	50分	「あたたかさ」と「ゆとり」と「ふれあい」のある熊本型仮設住宅の整備について	(一財)熊本県建築住宅センター 田邊事務局長 (元熊本県建築住宅局長)
16:40~17:00	20分	愛媛県応急仮設住宅建設のガイドラインについて	愛媛県建築住宅課 建築指導係 小沢主任
17:00		閉会	

参加申込書 (切り離さずFAXをお願いします)

FAX:089-943-5545

事務局:一般社団法人愛媛県中小建築業協会宛

受付No. (事務局記入)		TEL	
会社名		FAX	
会社所在地	〒		
参加者名	①	参加者名	③
参加者名	②	参加者名	④